

様式2 令和4年度 学校運営協議会(コミュニティ・スクールくさつ)の実施報告および議事概要

1、日時・場所

	第1回学校運営協議会	第2回学校運営協議会	第3回学校運営協議会
日時	6月28日(火) 19時00分～20時00分	10月18日(火) 10時30分～12時00分	12月13日(火) 19時00分～20時30分
場所	渋川小ふれあいルーム	渋川小ふれあいホール・各教室	渋川小ふれあいホール

2、委員の出欠

名 前	会長 副会長	役 職 等	出 欠	出 欠	出 欠
1 中川 きよ美		元小学校長	出席	出席	欠席
2 林 栄治	会長	渋川区区まちづくり協議会長	出席	欠席	出席
3 大庭 幸治	副会長	川学区区まちづくり協議会子ども育成部会長	出席	欠席	出席
4 札本 泉		渋川小学校PTA会長	出席	出席	出席
5 澤村 忍		渋川小学校地域コーディネーター	出席	出席	出席
6 山田 淳子		滋賀大学教育学部准教授	欠席	出席	出席
7					
8					

※名前に記されている印は、◎会長 ○副会長

名 前	役 職 等	出 欠	出 欠	出 欠
1 畑 真子	校長	出席	出席	出席
2 川岸 哲也	教頭	出席	出席	出席
3 中川 広紀	教務主任	出席	出席	出席
4 鵜飼 裕美	地域連携担当教諭	出席	出席	出席
5				

3、傍聴人の有無

傍聴人	0 人	傍聴人	0 人	傍聴人	0 人
-----	-----	-----	-----	-----	-----

4、議題および主な意見

基本理念	施策の基本方向・項目	市重点	学校重点	基本施策	第1回学校運営協議会	第2回学校運営協議会	第3回学校運営協議会	
子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ	1豊かな心と健やかな体の育成	○	○	3 道徳教育・人権教育の推進	学校運営基本方針の承認について 主な意見 ・学校が一人一人の学力や特性に寄り添った取組をしていることがよく分かり安心した。この方向で取組を続けてほしい。 ・他市には無いオンライン授業の充実は素晴らしい、保護者からの評価も非常に高い。	議題 渋川小におけるICT活用の実際 概要 委員の方に授業を参観参観いただき、児童の様子やICT機器を活用した授業の様子についてみていただき、その後協議をした。 主な意見 ・委員として数年に渡り授業を見てきたが、子どもたちが電子黒板やタブレットPCに慣れてきており、普段使っている。 ・市として早くからICTに取り組んできたことが成果として表れている。 ・アナログとデジタルのバランスがよい。	議題 学力向上に係る職員研修の在り方 概要 本校児童の学力の実態を共有し、今後必要となる力をつけるため、職員に必要な研修や研究について	
				4 いじめを根絶する取組の推進				
				5 健やかな体づくりの推進				
				6 社会性や豊かな情操育てる教育の推進				
				7 インクルーシブ教育の推進				
				8 ICTを活用した教育の推進				
				9 読書活動の推進				
	2確かな学力の育成	◎	○	10 基礎学力向上のための取組の充実	基本施策番号(15)	基本施策番号(15)	基本施策番号(15)	
				11 英語教育の推進	議題 本校の特色ある取組について、更によりよいものにするには。	議題 地域の人材を活用した取組について。	議題 地域の教育力を生かし、活力ある学校づくり	
				12 教職員研修・研究活動の充実	現状の姿 現在は、地域の人材をフルに活用し、地域コーディネーターが学校と地域のつなぎ役になり、教員の負担を軽減しつつ、多くの方と子どもたちがつながっている。	概要 1学期末から2学期に取り組んだ地域の方との学びについて説明。その評価とより効果的な取組について。	概要 本校のESDの取組を中心に、現在の地域の人材活用について共有し、今後の方向性について熟議を行う。	
	3教職員の指導力の向上	○	○	13 教職経験に応じた人材育成の推進	主な意見 ・子どもたちにも多くの方と出会う場が持てており好ましい。 ・派手な取組にばかり目を奪われず、地に足がついた日頃の学びを大切にしている。 ・毎年の見直しが必要。	主な意見 ・地域の人材活用がうまく進んでいる。 ・子どもにとっても好ましい取り組みである。 ・食を学ぶ機会はコロナ禍で苦心している。	主な意見 ・多くの学習で地域の方が関わっており望ましい。 ・渋川小も20年経って、卒業生が戻ってきて学校のお手伝いをする姿がみられるようになった。大変うれしい循環である。	
				14 教職員の健康管理と働き方改革の推進				
	4学校経営の充実	◎	◎	15 地域の活力を生かした特色ある学校経営の推進	本校の経営方針に賛同いただいた。 ・コロナ禍でのオンライン授業や感染症対策の取組を高い評価をいただいた。 ・教員が疲弊しない持続可能な取組が必要であり、PDCAの短いサイクルで教育活動の見直しが必要であり、課題である。	・実際に児童の姿を委員の方に見ていただくことで、その様子や学校の雰囲気、ICT機器の活用具合などが、具体的に見え、後半の議論が活性化した。 ・授業で見えない学校の取組について、ていねいに説明し、協議会の意見を学校運営に反映していきたい。	・2学期の学習活動を共有する中で、地域の人材活用の様子や学力向上の取組については、現在の取組を継続するべきである。 ・タブレット端末で児童の行っていることの一部を体験し、学習中のICT活用について具体的なイメージの共有ができた。 ・地域の人材活用については、持続可能なものにする必要がある。	
				16 教職員の指導体制・学校支援体制の充実				
				17 配慮を要する子どもへの支援体制の充実				
		成果および課題						